

二二〇三番

里さとゆ異けに 霜しもは置おくらし 高松たかまつの 野山のやま司つかさの
色いろ付づく見みれば

二二〇四番

秋風あきかぜの 日ひに異けに吹ふけば 露つゆを重おもみ 萩はぎの下葉したばは
色いろ付づきにけり

二二〇五番

秋萩あきはぎの 下葉したばもみちぬ あらたまの 月つきの経へぬれ
ば 風かぜをいたみかも

二二〇六番

まそ鏡かがみ 南淵山みなぶちやまは 今日けふもかも 白露しらつゆ置おきて
黄葉もみぢ散ちるらむ